



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 群馬支店

CSV×DXを通じて、 お客さま・地域・社会の未来を 支えつづけます。



📍 高崎市

住 所 高崎市小八木町895

T E L 027-361-2711

U R L <https://www.aioinissaydowa.co.jp/>

代表者 桜井 直和 (群馬支店長)

設 立 1918年6月30日

資本金 1,000億円

従業員 14,626人

ウェブサイト



🏢 企業紹介

当社は目指す姿を「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづけます。」としています。これは未知のリスクや様々な社会・地域課題に対して、最先端のデジタル技術・データを活用した新たな保険・サービスを生み出すことによって、安全・安心で快適な、新しい社会を創り出していくという考えからです。この「CSV×DX」で社会・地域課題の解決に取り組み、社会との共通価値を生み出していきたいと考えています。

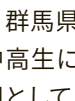
➡ 経緯・背景

自然災害の甚大化やIT社会の伸展等、社会の変化に伴う新たなリスクの出現により、当社の事業環境は目まぐるしいスピードで大きく変化しています。こうした変化に対して保険・サービスを進化させるためには、最先端のデジタル技術が必要不可欠となります。また当社は行動指針の一つとして「地域密着」を掲げており、地域に根差した事業活動を進めています。「CSV×DX」を通じて、群馬県の地域課題に取り組み、県民・県内事業者の皆さまの安全・安心に貢献することが私達の使命です。

テレマティクス技術で 自動車事故の減少を目指し、 安全・安心なまちづくりへ

📊 具体的な取組・成果

「CSV×DX」をコンセプトに最先端の技術やデジタル・データを活用して、地域課題の解決に取り組んでいます。



まだ誰も知らない安心を、ともに。

●テレマティクス技術による交通安全対策

群馬県の地域課題の一つである自動車交通事故や中高生による通学時の自転車事故の削減に向けた取組として、県内の多くの事業者の皆さまにもご支援いただきながら、2023年2月にテレマティクス技術を活用した交通安全イベントを開催致しました。今後もこうしたイベントを通じて、ドライバーの皆さまの安全運転意識の向上をサポートし、自動車事故の抑制とエコドライブ推進に貢献していきたいと考えています。

また当社が保有するビッグデータを活用し、危険な運転挙動の発生頻度が高い地点を可視化する交通安全EBPM支援サービスの提供を始めました。当社と連携協定を結んでいる各自治体を中心に提案を始めており、群馬県の安全・安心なモビリティ社会の実現に向けて取り組んでいます。



●群馬大学との共同実験

群馬大学と完全自律型自動運転を可能とする次世代モビリティに関する研究の産学連携協定を結んでいます。2018年には富岡市で自動運転バスの実証実験を行うなど、今後もCASE/MaaSへの取組から「住み続けられるまちづくりを」の実現に貢献していきたいと考えております。

●SDGsの普及促進

2022年5月に「SDGsぐんま連絡会議」に参画しました。同年12月にはSDGsぐんま連絡会議の協力を得て当社取引先や自治体職員の方々を対象に、SDGsワークショップを開催しカードゲームを体験していただきました。今後も当社のステークホルダーを含めたSDGsの普及促進に努めていきます。



2022年12月開催のSDGsワークショップ

当社にとってのSDGsビジョン

サステナビリティ重点取組項目として3つ設定しています。具体的には、

- ・健やかな地球環境を未来につなぐ
- ・レジリエントな社会の実現へ貢献する
- ・すべての人の幸福と自分らしい生き方を支える

です。この3つの視点から社会・地域課題の解決に貢献していきたいと考えています。

今後の展望と求めるパートナー像

デジタル技術を活用した地域課題解決と一緒に取り組んでいただける企業様とのアライアンスを拡大していきます。また地域密着を掲げる当社としては群馬県の地域課題解決に向けて、自治体、警察、商工団体、大学などへ様々な情報提供を行い、連携をして「産・官・学・民」一体となった取組を目指しています。